

## 18 文化活動の促進

①施策の展開	文化活動の促進	課名	文化スポーツ振興課
②取組概要	<p>活動・発表・鑑賞の場や情報の提供を行うとともに、人材・団体などを育成・支援するなど、市民が自主的に文化活動を行うための条件整備を図る。また、地域交流センターなどを活用し、文化活動の発表の場、鑑賞の機会の充実を図ることにより、市民相互の交流・連携を深める。</p>		
③構成取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 文化施策振興事業</li> <li>(2) 文化団体の育成支援</li> <li>(3) <u>アルカスホール</u><sup>(33)</sup>管理</li> <li>(4) 市民ギャラリー管理</li> <li>(5) 池の里市民交流センター管理運営</li> </ul>		

④取組計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 文化のにぎわいフェスタや寝屋川音楽祭など活動・発表・鑑賞の場や情報の提供を行う。</li> <li>(2) 人材・団体の育成・支援など、市民が自主的に文化活動を行うための条件整備を図る。</li> <li>(3) 地域交流センター（アルカスホール）では、指定管理者と連携して市民への周知を図り、自主事業を推進することによって、稼働率の向上をめざす。</li> <li>(4) 市民ギャラリーでは、文化関係団体と協働して、利用方法の改善や指定管理者の自主事業の充実に努める。</li> <li>(5) 池の里市民交流センターでは、使用者が安心して文化・スポーツ活動に取り組める環境づくりのため、耐震補強設計事業を推進する。</li> </ul>		
-------	--	--	--

⑤取組実績

(1) アルカスホールの文化事業（全 15 事業）をはじめ、寝屋川音楽祭や市民たそがれコンサートなど、様々な文化の活動・発表・鑑賞の機会を提供した。

<主な文化施策振興事業の参加状況>

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
柿落とし公演及びオープニング記念イベント	—	—	延 7,737 人
文化のにぎわいフェスタ（市民文化祭）	延 10,197 人	延 10,147 人	延 14,458 人
寝屋川音楽祭	—	821 人	1,071 人
市民たそがれコンサート	885 人	1,080 人	505 人

※ 平成 22 年度の市民たそがれコンサートは、4 駅前で実施。

- ・ 文化スポーツ情報誌「つながる」を、年 4 回発行し、文化・スポーツイベントの内容など、必要な情報を提供することができた。

(2) 文化関係団体と協働しながら、多様な事業を推進するとともに、文化振興会議<sup>(34)</sup>を 2 回開催し、文化に関わる人材・団体の育成・支援のあり方を審議するなど、市民の自主的な文化活動の促進に努めた。

(3) アルカスホールの指定管理者と連携を図り、メインホールを中心に、市民に優れた文化・芸術の鑑賞の機会や発表の機会を提供した。

<地域交流センター(アルカスホール)利用状況>

	使用回数（回）			入場者数（人）		
	平日	土日祝	合計	平日	土日祝	合計
メインホール	63	95	158	16,363	21,903	38,266
ギャラリーなど その他施設	505	435	940	10,194	12,551	22,745
合 計	568	530	1,098	26,557	34,454	61,011

平成 23 年度 メインホール 稼働率 44.6%  
 平成 23 年度 全施設 稼働率 44.0%

< 自主事業の実施状況 >

- ①お試しピアノコンサート（5回）830人
- ②こどもカーニバル 411人
- ③ハッピーデイズ 426人
- など、計 24 事業 3,978人

(4) 市民ギャラリーでは、貸出しの柔軟な運用を行い、利用者ニーズに対応するとともに、(仮称) 駅前図書館の開館に合わせて市民ギャラリーをリニューアルするため、展示室のレイアウトなどの検討を行った。

< 市民ギャラリーの利用状況（開催回数） >

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
絵 画	11 回	14 回	18 回
陶 芸	1 回	1 回	1 回
写 真	7 回	10 回	7 回
書 道	0 回	3 回	1 回
手 芸	1 回	0 回	2 回
生 花	0 回	0 回	1 回
他	24 回	19 回	14 回
合 計	44 回	47 回	44 回

(5) 池の里市民交流センターの管理運営においては、施設の安心・安全に向け、本館・体育施設の耐震補強設計委託を行うとともに、多目的室や体育施設など、適切な維持管理を行い、多くの市民の利用に供した。

<多目的室利用状況>

	多目的室1	多目的室2	多目的室3	多目的室4	多目的室5	合計
人数	4,203人	3,185人	4,619人	9,298人	4,504人	25,809人

<体育施設利用状況>

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
団体利用	52,216人	53,459人	53,711人
個人利用	314人	262人	612人
合計	52,530人	53,721人	54,323人

⑥評価

- (1) アルカスホールのオープニング記念イベントの実施など、多くの市民に文化活動・発表の場、鑑賞の機会を提供することができた。また、文化のにぎわいフェスタや寝屋川音楽祭など市民と行政が協働することにより、市民の自主的な参画を主体とした事業の推進を図ることができた。
- (2) 文化に関わる人材・団体の発掘に向け、文化のたねを育てよう事業（平成24年度事業）の具体化に向けた検討を進めた。  
今後とも、文化・芸術活動をより一層推進していくためには、市民の文化活動の実態把握や支援・協働等の最適な方策を検討していく必要がある。
- (3) 平成23年4月に開館したアルカスホールを文化の振興とにぎわい創出の拠点として、多くの市民の利用に供することができた。また、アルカスホール指定管理者による効率的・効果的な管理運営を行うとともに、より適正な管理となるよう、実地調査や指定管理者からの事業報告等による実績検証を実施し

た。利用者へのアンケート調査では、「受付窓口の対応がよかった」が約 67%であるなど、引き続き、利用者サービスの向上に努めていく必要がある。今後も、稼働率の向上とさらなる文化振興とにぎわいの創出に向け、多様な取り組みを推進していく必要がある。

(4) 市民ギャラリー指定管理者による効率的・効果的な管理運営を行うとともに、より適正な管理となるよう、実地調査や指定管理者からの事業報告等による実績検証を実施した。また、より一層稼働率の向上と利便性を考慮する中で、平成 25 年春に開館する（仮称）駅前図書館との管理運営の一体化や関連条例等の整備を円滑に行っていく必要がある。

(5) 市民が安全に施設を利用することができるよう、計画的に耐震化工事を実施し、また、多様な用途に使われている各室のさらなる有効活用を検討していく必要がある。